

「下地島空港活性化協議会」を開催しました

～累計利用客数100万人達成を機に更なる空港活性化・観光地としての受皿強化を目指します～

下地島空港活性化協議会(会長:座喜味一幸)(※1)は8月31日(木)に第13回「下地島空港活性化協議会」を開催しましたので、お知らせします。

【第13回 下地島空港活性化協議会】における主な報告・協議事項】

① 下地島空港の現況

- ・ 2023年8月22日、2019年3月30日のターミナル開業以来の累計利用者数100万人を達成。
- ・ 2023年度は4～7月全ての月で過去最多であった2022年度の同月を上回る利用者数を記録。
- ・ 2023年7月1日よりスカイマーク福岡線が新規就航、8月は最大1日7便の定期便が運航。
- ・ コロナによって運休となった国際線再開や東アジアを重点市場と定めた国際線誘致営業活動の推進。

② 羽田発着枠政策コンテスト関連

- ・ 観光地としての更なる受け皿強化を目指し、コンテスト提案内容に関する現状確認及び今後の取り組みについての協議。
- ・ 冬季閑散期のプロモーション施策についての確認、協議。

(※1) 本協議会は、宮古諸島の受入環境整備や下地島空港の航空路線プロモーションなど、下地島空港活性化に資する各種事業の立案並びに実施することを目的として、2020年8月に宮古島市、沖縄県、(一社)宮古島観光協会、宮古島商工会議所、下地島エアポートマネジメント株式会社にて立ち上げた組織です。

第13回協議会の冒頭、会長を務める宮古島市の座喜味市長より以下の通り挨拶がありました。

「コロナも薄れ、非常に多くのお客様に来ていただいております。島にとっても良い影響が出ている。この勢いを止めることなく、下地島空港・宮古島の更なる活性化に向けた取組みを引き続き活性化協議会として行っていきます。」

その後、下地島エアポートマネジメント株式会社より下地島空港利用状況について報告がありました。

- ・ 2023年夏期スケジュールの運航計画
- ・ 2023年夏期スケジュールの運航状況
- ・ 2023年冬期スケジュールの運航計画
- ・ 2019年度以降の利用者数推移
- ・ 今後の航空営業戦略、既存路線利用促進に向けたプロモーション活動
- ・ 航空貨物取扱状況
- ・ 国際線誘致に向けた営業状況

続いて、協議会メンバーにて以下内容が行われました。

- ・ 下地島空港の活性化に向けた航空路線の維持・拡大に関する施策についての意見交換。
- ・ 新規路線のスカイマーク福岡線のプロモーション活動の報告、振り返り。
- ・ 冬の閑散期におけるプロモーション計画やスポーツ団体の誘致、スポーツイベントの計画についての取り組みの確認。

本協議会は、今後も官民一体となって下地島空港活性化に向けた施策を立案・推進し、宮古諸島のさらなる活性化を目指します。

【第 13 回下地島空港活性化協議会の様子】



■ 第 13 回「下地島空港活性化協議会」概要

日時： 2023 年 8 月 31 日(木)10:00~11:30

場所： 宮古島市役所会議室

出席者： 「下地島空港活性化協議会」会員

座喜味 一幸 宮古島市長(協議会会長)

長濱 為一 沖縄県宮古事務所 所長(協議会事務局)

根路銘 康文 宮古島商工会議所 会頭

平山 茂治 (一社)宮古島観光協会 専務理事

鶴見 弘一 下地島エアポートマネジメント株式会社 代表取締役社長